学校番号	３１５

平成３１年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「精選古典Ｂ」［改訂版］　（三省堂）						
副教材等	古文単語と一緒に学ぶこれからの古典文法［改訂版］（尚文出版） 「新訂総合国語便覧」「みるみる実力アップ古文」（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・国語の力を身につけることを心がけましょう。
・日々の学習では①本文を繰り返し、音読する。②文章に出てくる語句の意味を、辞書を使って調べる。③人の意見を聞き、しっかりと考え、自分の意見をまとめる。を心がけましょう。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」しっかり身に付けてください。
・有名な古文・漢文の作品に親しみ、心情等を正しく理解するために語彙力や文法の知識を身に付けてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業のあとには内容を振り返って復習してください。
・提出物は期限を守って必ず提出しましょう。定期考査は計画を立てて準備に臨みましょう。

２　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、思いや考えを適切に表現することができる。
・文章の内容や構成、登場人物の心情などを的確に理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し相互理解を深めるために、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・古典の言語文化に対して興味・関心を持ち、国語を大事にする態度を育んでいる。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：読む能力	c：知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	古典を読んで思想や感情などを的確にとらえたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化および言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身につけている。
評価方法	発言（質問）、授業への取り組み状況、提出物の状況、面接、定期考査における論述など	発言、音読、ワークシート、課題プリント、小テスト、ノート点検、定期考査など	発言、音読、ワークシート、課題プリント、小テスト、定期考査など

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c			
1	古文を味わう	教材: 「博雅の三位と鬼の笛」 「小野篁、広才のこと」 「大江山」	○	○	○		a:文中の情景や心情などを作者がどのように表現しているのかをとらえ、伝統と文化について理解を深めている b:各作品から読み取れる作者の心情・感性を理解している c:文学史的な基礎知識を正確な読解に結びつけている	a:行動の観察、記述の点検など b:記述の確認及び分析、定期考査など c:行動の確認、記述の確認、定期考査、小テストなど
1	漢文を味わう	教材: 「畏饅頭」	○	○	○		a:読解を通して内容を正確につかみ、漢文に親しむ姿勢をもっている b:文章の機知やおかしみなどを理解している c:正確に訓読している	a:行動の観察、記述の点検など b:記述の確認及び分析、定期考査など c:行動の確認、記述の確認、定期考査、小テストなど
2	古文を味わう	教材: 「光源氏の誕生」 「あこがれ」 「養和の飢饉」	○	○	○		a:　文中の情景や心情などを作者がどのように表現しているのかをとらえ、伝統と文化について理解を深めている b:描かれた題材を正確に読み取り、表現の特色や作者のものの見方、考え方について考える。 c:文学史的な基礎知識を正確な読解に結び付けている。	a:行動の観察、記述の点検など b:記述の確認及び分析、定期考査など c:行動の確認、記述の確認、定期考査、小テストなど

2	漢文を味わう	教材: 「鴻門の会」 「四面楚歌」	○	○	○		a:司馬遷が史記を著すにいたった経緯を理解し、登場人物の行動やその背景にある心理を考えようとしている。 b:場面ごとの話の展開を的確につかんでいる。 c:語句の意味や重要な句形について理解を深めている。	a:行動の観察、記述の点検など b:記述の確認及び分析、定期考査など c:行動の確認、記述の確認、定期考査、小テストなど
3	古文を味わう	教材: 「月やあらぬ」 「弓争い」	○	○	○		a: 文中の情景や心情などを作者がどのように表現しているのかをとらえ、伝統と文化について理解を深めている。 b:話の展開や登場人物の心情を理解している c:和歌の修辞の理解および物語に関する文学史的な基礎知識を正確な読解に結び付けている。	a:行動の観察、記述の点検など b:記述の確認及び分析、定期考査など c:行動の確認、記述の確認、定期考査、小テストなど
3	漢文を味わう	教材: 「鹿柴」 「涼洲詞」	○	○	○		a: 情景や心情などを作者がどのように表現しているのかをとらえ、中国の文化について理解を深めている b:詩の読解を通してものの見方、感じ方、考え方が豊かになっている。 c:近体詩のきまりについて理解している。	a:行動の観察、記述の点検など b:記述の確認及び分析、定期考査など c:行動の確認、記述の確認、定期考査、小テストなど

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:読む能力　　c:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。